

7 本学の特色ある授業科目

(1) 基礎ゼミナール

本科目は短期大学での学習の導入教育を行う科目です。短期大学で学ぶことの意味、話す技術、聴く技術、手紙を書く技術を導入教育として学び、さらに文章作法やレポートの書き方などスタディ・スキルの獲得を目指すと共に、研究倫理についても理解を深めます。まとめとして最後にグループごとの研究を行います。

「基礎ゼミナール」(1年次前期科目、2単位、演習科目)

(2) 地域社会とボランティア

ボランティアの概念と枠組みに関する講義を踏まえて、実際のボランティア活動を実践するための方法を学び、ボランティア団体の社会的意義や地域社会との連携、活動を継続するための課題をまとめます。授業の一部に実習を取り入れています。ボランティア体験活動を通して人と積極的に関わり意欲を高め、社会に対する主体的責任を自覚し、能動的に社会参加を行う気風を育てます。さらに、休業期間を利用して、実際にボランティア活動を行うことでより理解を深めます。また、活動体験を振り返り自己の学びについてディスカッションを行い、地域社会の理解に努めます。

「地域社会とボランティア」(1年次前期科目、2単位、演習科目)

(3) 保育研究

保育所やその他の児童福祉施設及び幼稚園の担っている保育の営みについて学習します。保育とは何か、保育の基本理念、子ども生活と保育、家庭保育・地域保育の考え方など保育の基礎概念を整理して理解するとともに、実習に向けて、実習の目的・内容の理解や実習日誌の記入の方法、記録の取り方・指導案の書き方などについても学びます。実際に部分実習を発表し合うことで必要な保育技術について学びます。

「保育研究」(1年次前期科目、1単位、演習科目)

(4) 保育技能Ⅰ・Ⅱ

保育者が現場で子どもの成長・発達にとって効果的で意義深い環境構成能力を発揮するためには、多様な保育技能を確実に修得して、現場と子どもの状況に適合した優れた技能を発揮することが求められます。そのため本学では、保育に関する学習を実践へと結実させるために、保育の内容・方法を実践的に具体化する保育技能の学習に関する次の科目を設置しています。いずれも卒業必修科目です。

「保育技能Ⅰ」(1年次通年科目、1単位、実技科目)

「保育技能Ⅱ」(2年次通年科目、1単位、実技科目)

(5) 保育・教職実践演習（幼稚園）

本学の学修によって身につけた資質能力が、保育者として最小限必要な資質能力として有機的に結合され形成されているかについて、本学が想定する保育者像、到達目標に照らして最終的に確認する授業です。また、将来、保育者になる上で、自己にとって何が課題であるか自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図るとともに、自分についてのあるべき保育者像を確立していきます。

「保育・教職実践演習（幼稚園）」（2年次後期科目、2単位、演習科目）

(6) 保育キャリア形成演習

保育キャリア形成演習Ⅰ

卒業後、保育業界に就職する場合には、保育に関する基礎知識だけでなく一般教養も必要になります。そこで、就職試験に必要な筆記試験に対応した授業や、公立保育園への就職を希望する学生のために、公務員一般教養試験対策として問題演習形式の授業を行います。

また、卒業後に保育士や幼稚園教諭として就職していくうえで、仕事の内容やその仕事に就くためにはどのような準備を進めていくかを学び、就職支援を行います。その上で、専門職としての職業生活を成功させ、就業力を高めるための知識やスキルを身に付けます。

「保育キャリア形成演習Ⅰ」（1年次後期科目、1単位、演習科目）

保育キャリア形成演習Ⅱ

前半は公立保育所への就職を希望する学生のために、公務員専門試験や小論文試験対策のための問題演習形式の授業を行い、公務員を目指すための学習方法について学びます。後半は、自己の特性に合った保育活動を計画し実施することで、自らの得意分野を知り、質の高い技術を習得するための方法について考えます。その上で、これまでの保育活動を振り返り、自身の課題を明確化するための授業を実施します。

「保育キャリア形成演習Ⅱ」（2年次前期科目、1単位、演習科目）